

事例 23 地域のニーズを踏まえた広葉樹の供給

(九州森林管理局 鹿児島森林管理署)



- ・鹿児島県南九州市 種子尾国^{たねお}有林
- ・（左）立木販売実施箇所での現地検討会の様子（令和6（2024）年2月）
- （右）採材された鯉^こ節生産用の薪材（令和6（2024）年2月）

鹿児島県は生産量が全国一位の鯉^こ節の産地ですが、カツオを乾燥するために必要な広葉樹の薪の生産量が減少傾向にあります。このような背景がある中で、南薩地域の水産加工協同組合等から「国有林から地場産業の鯉^こ節生産に必要な広葉樹を出材してほしい」という声が寄せられていました。

鹿児島森林管理署では、こうした地域のニーズを踏まえ、公益的機能の発揮に配慮しつつ、地域振興や資源の有効利用等の観点から検討を行い、広葉樹二次林の資源状況やそれを踏まえた供給可能量を算定のうえで、計画的な供給を実施することとしました。

同署では、令和5（2023）年度に2件、合計で面積約10ha、材積約2,400 m³のシイ・カシ類等の立木販売を実施しました（更新方法は萌芽更新を予定）。引き続き、令和6（2024）年度以降も広葉樹二次林について資源状況等を踏まえ、適切な更新を確保しつつ、年間20ha程度の立木販売の計画的な実施に取り組んでいきます。

木材の供給



https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/gaiyo/mokuzai_hanbai/index.html